

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第67号(201502)

発行 竹田幸男



新年食事会 1月14日は例会に先立ち、寝屋川市駅前、がんこ寿司で新年昼食会を行い、今年の活動がスタートしました。

例会の窓

平成27年1月例会

日時：平成27年1月14日(水)

出席者 天野 新井 小林 佐伯 竹下 竹田
谷 田淵

欠席者：1名(50音順・敬称略)

時間・場所：

- ・ 11：40 がんこ寝屋川店で新年昼食会
- ・ 13：30 市民活動センター 4F ワーキングスペース

例会次第

1．各会員の最近の活動状況・情報交換

2．報告・連絡・協議事項

(1) 会報筆者 小林さん

(2) 同好会ビデオ作品発表会の準備

- ・ 27年3月14日に向けて今日は発表会予定全作品を映写して確認する。
- ・ 発表会に向けての日程を詰める。
- ・ 1/末までに 作品の時間、題名、内容コメント30字以内文提出
- ・ 2月例会(2/11)にプログラム配布予定
- ・ 3月例会(3/11)に当日の集合時間・役割分担・持参品決定
- ・ 打ち上げの詳細・時間(17:00~)

3．映写・検討(*は出品予定のみ)

- ・ 天野さん ガラシャ祭り
- ・ 新井さん 田んぼアート 成田山
- ・ 竹下さん 湖東三山 世界一大きい生きもの
東欧街角音楽拾遺
- ・ 谷さん 屋久島 縄文杉 奥上高地 徳沢
- ・ 竹田さん 友好の懸け橋 夢遊 コモの秋
- ・ 小林さん 初めてのマルチカメラ編集*
- ・ 佐伯さん 初めてのビデオ編集*

4．来月の開催日 2/11(水・祝日)13時30分 4Fワーキングスペース

- ・ 取れる範囲の場所取り(駅前も含め)取っておく。
- ・ 3/22(日)は映像協会総会の予定 10:30~映像協会役員会
13:00~映像協会総会・合同例会



フォーメーションダンスによる 初めてのマルチカメラ編集

小林 宣 誉

私がマルチカメラ編集を始めたきっかけは、映像編集のレベルアップを図りたい思いからです。複数カメラで撮影すれば、映像は上下左右と多面的になり、被写体の人数は増加し1台では撮れなかった人達も撮れるようになりより多くの人に喜ばれるからです。

一方、映像は全体と部分との組み合わせにより、エキサイティングな臨場感溢れるものになると思います。しかし、複数の映像を今まで入手できず諦めていましたが、今回そのチャンスが得られました。撮影した友達から映像を頂いたからです。

さて、マルチカメラ編集とは？

マルチカメラ編集とは言葉のイメージ通り、複数のカメラで同時に撮影した映像を切り替えながら、一本のムービーに仕上げる編集のことです。

編集に使用したソフトウェアは、Adobe社のPremiere Pro Cs6です。

その手順は

- (1) 複数の映像を準備する。
- (2) 複数の映像を同期させる。
- (3) 複数の映像をモニターで切り替えながら編集する。

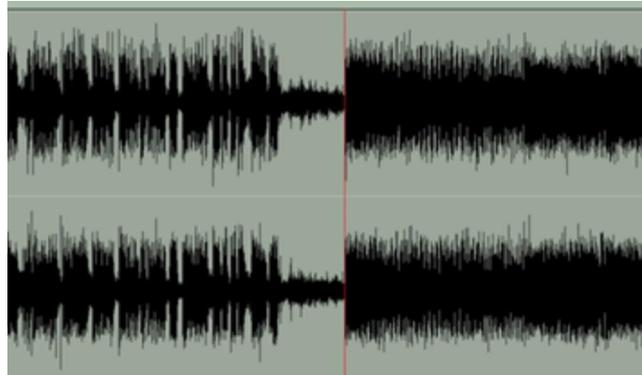
1 . 映像の作成 ダンスパーティのフォーメーションダンス (パソドブレ&タンゴ) を撮影。カメラは次の2台で撮影した。



- (1) 上図が中央カメラです。移動しながら1組のペアをアップしながら追うことや、ダイナミックに動くグループや会場全体を撮影します。

(2) 2台目のカメラは、左下から手前に迫ってくるグループを左側面から撮影。また、斜め横から活力あるポーズや会場全体を撮影。

2. 複数の映像の同期をとるため、編集ソフトウェアの音声タイムラインの上で基準点を合わせます。



音声の波形を上図のように、横に拡大して立ち上がりが見えり境界点にマーカーを打って、それぞれの映像の基準とします。

3. マルチカメラ編集

(1) 下図はマルチカメラ編集のモニター画面です。

①は左カメラの映像です。

②は中央カメラです。

③は左右カメラの映像が選択されたもので、左カメラが選択され、ちょうど、中央カメラが写っている。赤い枠は、カメラを選択している表示。

④は、マルチカメラ編集システムの開始/停止ボタンで、クリックすると、左右の二つの映像が流れます。



(2) モニター画面による編集方法

映像サンプルは、2台のカメラで撮影したフォーメーションダンスの「パソドブレ&タンゴ」です。

カメラで撮影した映像をシステムに読み込み、二つ映像の同期をとり、そしてマルチカメラ編集モニター画面が出るように準備する。

モニターのスタートボタンをクリックすると、二つの画面の映像が流れて再生を開始します。

カメラの切り替えは、カメラの画面上をクリックすることでカメラの切り替えができます。

二つの映像を流しながら切り替え点を決める。映像が動いているのはどちらが良いか判断する事が難しいので、停止ボタンを押して流れを止めて二つの映像を比較・検討して決める。

希望する回数まで繰り返す。本サンプルでは9回切り替えました。

左右の二つの映像を見ながらどちらが良いか判断する。映像の選択が難しいということを感じた。

(3) 編集結果

左カメラの編集結果 赤枠で左カメラが選択されている。カメラは会場の横から左側面を撮っている。



・"カッコ良い"タンゴのフィナーレですが全員を撮っている。



中央カメラの編集結果 赤枠で 中央カメラが選択されている。

- ・ 1組のペアを次々にアップしながら生き生きとした映像を撮っている。



パソドブレの力強いフィナーレと盛り上がった会場を上から撮影。



4. 結論

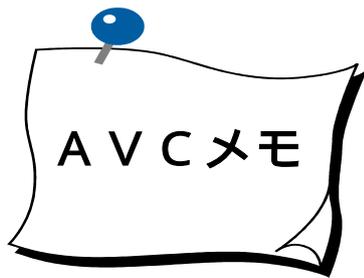
以上のように、二つの映像を臨機応変に切り替えて、一本のムービーに仕上げました。マルチカメラ編集ではこのように、複数のカメラで撮影した映像を、あたかも1台のカメラで撮った映像のように編集することができます。その結果、映像は臨場感も向上して見易く躍動的になったと思います。今回は、このサンプルの他に7本のマルチカメラ編集をしました。

この中で、カメラを切り替える映像の選択が結構難しいということを感じました。

ダンスサークル会員による試写会においては、大好評とは言えませんが、おおむね好評でした。(寛いだ場所で大型テレビ2台を使用して実施)

今回の体験を生かして、これからもより良い映像の作成を目指したいと思います。

以上



パソコンが壊れた! (2)

竹田 幸男

年末に、CPUとマザーボードの両方が壊れている、という宣告を受け、それでも何とかしなければ編集が続けられない、という危機感から、直ちに修理に取り掛かるべく、その場でマザーボードとCPUの購入を決定、マザーボードはAsusのZ97PRO GAMER (以前の物はP8Z77-V Pro)、CPUはi7-4790k (以前のものはi7-3770k)。

年末だから大掃除もある、家の内外の清掃もしなければならない。そして最後は換気扇の掃除、とくるので、年末の数日は、じっと我慢の子であった。

正月の行事も一通り終わって、落ち着いたところで、さて、と修理に取りかかる。不良のマザーボードを取り外し、配線類も一旦取り外す。うっかり十分確認しないまま全部外してしまったが、外してから、外す前にケースのファンの線がマザーボードに繋がっていたのかどうか、記憶が定かで無い。もし接続が外れて、もしくは接続忘れで冷却が不完全になりCPUが熱暴走したのではないか、という疑惑を感じたが、注意していなかったのが後の祭りである。気を取り直してケースに新しいマザーボードを慎重に取り付ける。CPUを方向を間違えないようにソケットに慎重に置き、レバーでクランプする。CPU上面に熱伝導のよい銀粉入りのシリコングリスを塗ってファン付のCPUクーラーを固定する。クーラーを強く押しつけるとマザーボードが壊れないか、と、危惧しながらの作業である。電源のコネクタを接続し、メモリーをソケットに挿入し、SSD、ハードディスク、光学ドライブ等の接続と順を追って進めていく。修理とは言っても、やることは新作と同じである。

比較的短時間(約2時間ぐらいか)で作業は完成、慎重に確認してモニター、キーボード、マウスをつないで電源を入れる。息詰まる時間・・・モニターには何も出てこない・・・焦る。

今度のマザーボードは、CPU、DRAM(メモリー)、ビデオカードなど重要部分の動作をチェックできるLEDがあって、これは問題箇所が赤点灯する、と言う便利な手段が搭載されている。メモリー対応のLEDが赤く点灯して、メモリーに不具合があることを示している。一瞬、メモリーもいかれたか、と思ったが、電源を切って16GBのメモリーを外し、もういっぺん挿入してみる。挿入が堅いので、壊れないかと心配であるが、強い力でしっかり挿入し直して電源オン、今度はモニターも輝き、ウィンドウズはスタートを切った。やはりメモリー

の取り付けが不十分だったのだ。

ここまで来れば、後は快調。CドライブとしていたSSDのウィンドウズ7 Professional 64ビットも、今まで使っていた各種ソフトウェアも再インストールする必要がなく、快適に動いているようだ。ところで、音が出ない。新しいマザーボードに対応するドライバーが入っていないことに気づく。改めてマザーボード付属のチップセットサポートDVDを光ドライブに入れてドライバー類をインストールする。

以前Raid 1を組んでDドライブとしていたデータ領域は無傷で残っている。ただRaidは構成は分解してマスター側だけが生きている。念のためにHDDのデータを外付けHDDに転送しておいて、もう一度Raid 1を組み直す。この過程でも複雑な作業があったが、詳細は省略する。このとき、いったんは中のデータが削除されるか、と考えて、事前に外付けHDDに転送しておいたのだが、Raidを再構成した後もデータはちゃんと残っていたので、データの転送は結果的には不要だった。これは一応の安心のために行ったことで、長い間蓄積したデータを守るためには、念には念を入れるだけの価値がある。

このパソコンは映像編集専用で、一般事務には使わず、メールやネットの検索も行わないが、ウィンドウズのアップデート、ソフトウェアのアップデート、認証などの場合に、やむを得ず短時間ネットにつなぐ必要がある。そのため、ウイルス駆除ソフトとして、無料のマイクロソフト製「セキュリティ エssenシャルズ」をインストールする。

昨年暮れから続いた故障修理劇も、半月ぐらいかけて、やっと収束を迎え、以前通りの映像編集専用パソコンを復活することができた。